

令和2年度 首都直下地震防災訓練（東扇島会場）を開催しました

首都圏臨海防災センター

- 実施日時 令和2年11月6日（金）13:00～15:15
- 実施場所 東扇島基幹的広域防災拠点（東扇島東公園内）
- 訓練内容 非常参集訓練、人命救助訓練、道路・航路啓開訓練、緊急支援物資輸送訓練、応急復旧訓練、ライフライン応急復旧訓練、津波避難・帰宅困難者輸送訓練、被災状況調査訓練、感染症対策施設設置・活用訓練ほか
- 参加機関 16機関・団体、約280人
関東地方整備局（荒川下流河川事務所、千葉港湾事務所、東京港湾事務所、京浜港湾事務所、東京湾口航路事務所）、関東運輸局、第三管区海上保安本部（川崎海上保安署）、川崎市（総務企画局、健康福祉局、港湾局、病院局、消防局）、陸上自衛隊（中央輸送隊）、海上自衛隊（横須賀地方総監部）、東京電力パワーグリッド（株）川崎支社、K D I（株）、日立建機日本（株）関東支社、（一社）日本埋立浚渫協会関東支部、川崎港運協会、神奈川倉庫協会、（一社）日本自動車連盟神奈川支部、（一社）海洋調査協会、（国立研究開発法人）港湾技術研究所、防災エキスパート

※新型コロナ対策のため訓練規模・参加者数を縮小し実施

①訓練（第一部）



石橋副局長による開会挨拶



西谷事業計画官による開始宣言



協定締結機関への出動要請



活動要員の参集報告（整備局・運輸局・川崎市・埋浚・海調協）



ヘリによる参集（あおぞら号）



緊急支援物資輸送訓練（河川と連携）



人命救助訓練（川崎市消防局）



道路啓開訓練（JAF）



ライン復旧訓練（東電・KDDI）



液状化復旧訓練（埋浚）



緊急支援物資輸送訓練（陸自）



物資一時仮置訓練（神奈川倉庫協会）



津波避難・帰宅困難者輸送訓練

②訓練（第二部）



航路啓開訓練（べいくりん・べいさーち・巡視艇たまかぜ）



水中ドローン訓練（海調協）



変移測定・使用可否判断訓練（港空研）



緊急支援物資輸送訓練（海自）



岸壁応急復旧訓練（20tシャシ通行）



感染症対策施設設置・活用訓練



衛藤部長による講評